



株主・投資家の皆様へ

第26期

株主通信

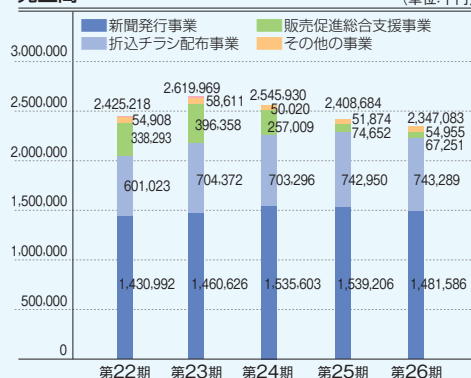
2009年9月1日～2010年8月31日

株式会社
地域新聞社

証券コード2164

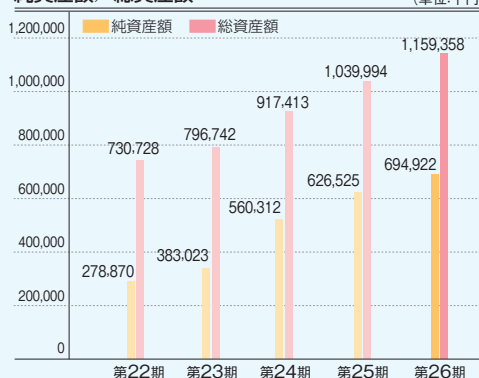
売上高

(単位:千円)



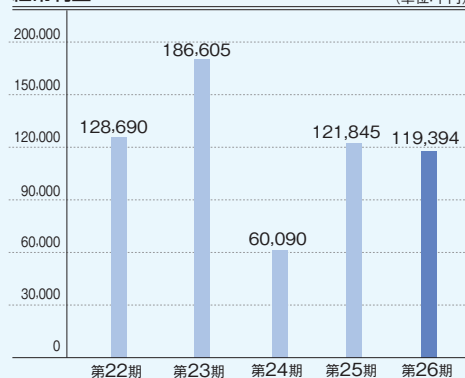
純資産額／総資産額

(単位:千円)



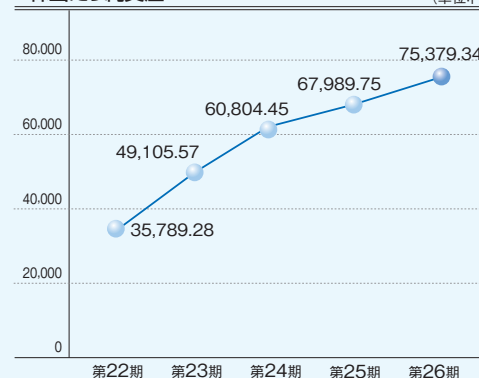
経常利益

(単位:千円)



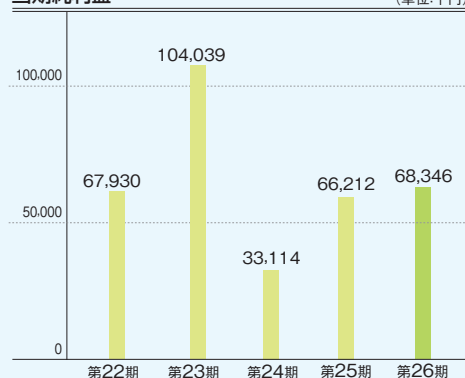
1株当たり純資産

(単位:円)



当期純利益

(単位:千円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)





代表取締役社長
近間 之文

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて金融危機による景気低迷が続く中、当社の属する広告業界も依然として厳しい経営状況が続いております。今期、当社におきましてもその影響を少なからず受け、主に新聞発行事業の売上高が前年実績を下回った結果、減収となりました。営業利益及び経常利益に関しましては、配送機能のセンター化等による業務の効率化を図ったことにより、販売費及び一般管理費の節減を実現しましたが、前年実績をわずかに下回る結果となりました。

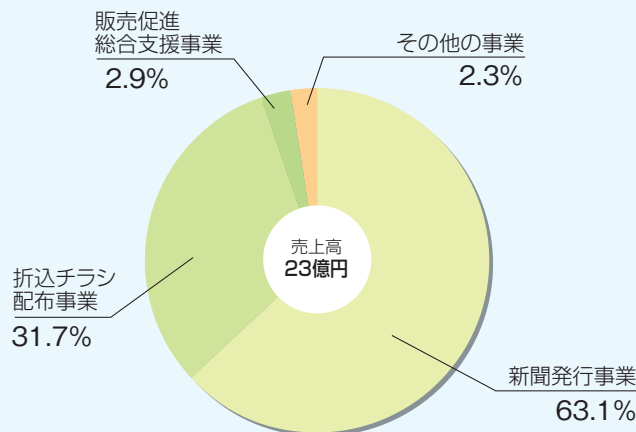
27期の営業活動の基本方針としましては、既存の営業活動に集中するとともに、新規事業であるモバイル広告事業（ポータルサイト名「ちいこみ」）を活用し、紙面とWebのクロスメディア化を推進します。紙面とWebの連携により、競合他社との差別化を図り、付加価値の高い広告を提供し、顧客満足度を高め、売上高の拡大を図っていきます。また同時に、中期的な経営目標である売上高30億円、経常利益3億円を実現するために、システム投資等による事業活動の最適化を推進し、生産性の向上に取り組んでいきます。

新しい事業に挑戦し、姿・形に変化を重ねながらも当社の経営理念である「人の役に立つ」をより実践し、様々な形で地域社会へ貢献していきたいと考えております。

今期の利益配当に関しましては、1株あたり1,500円の期末配当を実施させていただきます。当社はこれまで安定した財務体制を確立し経営基盤を強化するため、内部留保の充実に努めてまいりました。今後も引き続き成長を継続させ、企業価値を高めてまいり所存ですが、今期は株主の皆様へ利益還元として、配当を実施いたします。なお今後におきましても、業績推移及び利益剰余金の状況を勘案しながら利益還元を検討していく予定です。

最後に常日頃多くのご支援、ご協力を賜っております株主の皆様に対して厚く御礼申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 近間之文



広告関連事業

- 新聞発行业
- 折込チラシ配布事業
- 販売促進総合支援事業

その他の事業

当事業年度におけるわが国経済は、世界金融危機による景気低迷が続く中、海外経済の改善や緊急経済対策を始めとする政策の効果などを背景に、ようやく景気の持ち直し傾向や自立的回復に向けた動きも見られ始めました。しかし、失業率が高水準にあるなど、引き続き雇用情勢は悪化しており、依然として厳しい状況が続いております。

当社の属するフリーペーパー・フリーマガジン市場は、媒体及びターゲットの多様化が進んでおりますが、景気悪化に伴う広告出稿数の減少や、競合他社だけでなくWeb広告媒体との価格競争も激しくなるなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、千葉県45エリア(版)、埼玉県4エリア(版)において、基盤事業である「新聞発行业」及び「折込チラシ配布事業」に経営資源を集中し、営業活動を推進してまいりました。既存取引顧客への継続取引拡大、新規取引顧客の開拓を行い、業績の回復に努めてまいりました。また、平成22年7月に発行エリア(版)の拡大を行い、越谷中央版を新設いたしました。

売上高につきましては、「折込チラシ配布事業」及び「その他の事業」は前年実績を上回りましたが、「新聞発行业」及び「販売促進総合支援事業」については、前年実績を下回る結果となりました。

売上総利益につきましては、新聞印刷単価の見直しを行い、印刷外注費は低減いたしました。しかし、「新聞発行业」の売上高が想定以上に下回ったため、減益となりました。しかし、配送機能のセンター化による業務の効率化と営業人員の適正化を図ったことにより、販売費及び一般管理費の節減が実現し、営業利益及び経常利益はわずかに前年実績を下回りましたが、減損損失の発生が当事業年度は少なかったため、当期純利益は前期実績を上回りました。

以上の結果、当事業年度における売上高は2,347,083千円(前年同期比2.6%減)、経常利益は119,394千円(前年同期比2.0%減)、当期純利益は68,346千円(前年同期比3.2%増)となりました。

新聞発行业

「地域新聞」は購読料のかからない地域情報紙(フリーペーパー)であり、千葉県及び埼玉県の一部を50エリア(版)に細分化し、そのエリア(版)ごとに地域の身近な情報を掲載し、毎週金曜日に約174万部^(注)を発行しております。配布方法は、地域の主婦を中心とした約2,700名の配布員(ポストメイト)によりエリア(版)内の全戸へ一軒一軒手配りしております。

新聞発行业の収益は、紙面に掲載する広告枠の販売及び広告の制作等の一連のサービス提供によるものです。

当事業年度の新聞発行业の売上高は1,481,586千円となりました。

(注)2010年8月末現在の発行部数は1,740,316部です。



折込チラシ配布事業

折込チラシ配布事業とは、当社が発行する「地域新聞」に折込チラシを折り込んで配布する事業です。折込チラシの配布エリアは500から1,000世帯単位に細分化しており、広告主の細かいニーズにきめ細かく対応することができます。

新聞発行业と併せた営業活動を行い、当事業年度の折込チラシ配布事業の売上高は743,289千円となりました。

販売促進総合支援事業

販売促進総合支援事業とは、新聞発行业や折込チラシ配布事業の領域に属さない販売促進関連業務(展示会等の広告イベントの企画及び運営、配布チラシやポスターの編集及び制作、店舗ディスプレイ計画の立案等)を通じて、お客様のさまざまな販売促進活動を支援する事業です。

当事業年度の販売促進総合支援事業の売上高は67,251千円となりました。

地域新聞の「特集」についてご紹介

地域新聞には通称「特集」と呼ばれるページがあります。通常の紙面とは異なり、あるテーマのもと、共通性のある広告を集めた企画物のページの事です。お得なクーポンをたくさん集めた「チキチキクーポン特集」や医療機関を集合させた「医療特集」のほか、様々な企画があります。その種類は大きく2つに分類され、1つは、年間スケジュールが決まっており、全エリア(版)で実施する「全社特集」。もう1つは、各エリア(版)の責任者が自身で時期や料金を含め、テーマや内容など全てを企画して行う「版別特集」です。この版別特集は、日々、地元に根付いた営業をしている社員一人一人が、その地域やお客様の事を考えて独自に行っていくものです。地域を盛り上げたい!また、読者に楽しんでもらいたい!との思いがぎゅっつりつまったものになっております。

全社特集

◎全社特集の歴史

今から十数年前、広告にクーポンを付けた「チキチキクーポン特集」が登場したことが全社特集の始まりです。この特集名は、「地域(チイキ)」とハサミで切る「チョコチョコキ」をかけたところからきており、読者からはクーポン付きでお得感があり、紙面も見やすいと大変好評でした。また、お客様からは、反響が良いのでまた実施して欲しいという評価をいただきました。今では年4回の定番企画となり、形や内容は変われども、地域新聞一の人気企画となっております。



チキチキクーポン特集
読者にWでお得な特集です。1つ目は、クーポンを使ってお得にお買い物。2つ目は、利用したクーポンが、プレゼント応募券になっており、旅行などが当たるチャンス!



クイズに答えて
2010年に初めて登場した企画。各広告内にあるお店に関するクイズの答えを記入し、利用したお店に渡すと、グアム旅行が当たる応募券に! 読者に大好評の企画となりました。



医療特集
「誰でも手に入る電話帳」を目指し、地域へのお役立ち精神から生まれた特集。緊急連絡先なども記載され、引越したての方や、一人暮らしの方に重宝されています。

版別特集

◎版別特集の目的

全社特集とは違い1つのエリア(版)から実施できるため、お客様のご要望を最大限取り入れた紙面、地域のイベントに合わせた特集が組めます。そのため、その地域の特色を活かした「〇〇市お祭り特集」や、担当営業がお勧めする「営業●●のおすすめのお店特集」といった自由な発想で個性あふれる企画が紙面を飾っています。反響や広告効果を高めるために、読者やお客様の思いを自由に形にできる事も地域新聞の魅力の1つと言えます。

夏の市川満喫MAP

2010年7月23日発行号、市川南版掲載。毎年、市川市で行われるお祭りに合わせて企画、「市川を盛り上げたい」という営業担当の強い思いから実現したもので、毎年楽しみにしている読者も。



男と女のキタナラ特集

2009年1月9日発行号、船橋東版掲載。男性営業担当と女性営業担当が、北習志野を盛り上げるために企画。



4コマまんがが特集

2009年4月24日発行号、千葉南版掲載。マンガ大好きな営業担当が企画。イラストは全て手描き。



佐倉deグルメ

毎月2回、佐倉西版で定期掲載している特集。佐倉市の地元の飲食店を集めて掲載。効果も上々。

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	前期 2009年8月31日現在	当期 2010年8月31日現在	増減額
■資産の部			
流動資産	947,086	969,134	22,048
固定資産	92,908	190,223	97,315
有形固定資産	19,314	91,281	71,966
無形固定資産	12,538	29,689	17,150
投資その他の資産	61,055	69,253	8,198
資産合計	1,039,994	1,159,358	119,363
■負債の部			
流動負債	329,716	327,645	△2,070
固定負債	83,753	136,790	53,037
負債合計	413,469	464,436	50,966
■純資産の部			
株主資本	626,525	694,922	68,396
資本金	203,087	203,112	25
資本剰余金	133,087	133,112	25
利益剰余金	290,350	358,697	68,346
純資産合計	626,525	694,922	68,396
負債純資産合計	1,039,994	1,159,358	119,363

流動資産、固定資産

主に有形固定資産が71,966千円、現金及び預金が43,421千円増加したことによるものです。

流動負債

主に買掛金が7,174千円及び未払金が5,833千円減少しましたが、リース債務が11,325千円増加したことによるものです。

固定負債

退職給付引当金が13,461千円、リース債務が39,575千円増加したことによるものです。

純資産

主に繰越利益剰余金が68,346千円増加したことによるものです。

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前期 (自 2008年9月 1日 至 2009年8月31日)	当期 (自 2009年9月 1日 至 2010年8月31日)	増減額
売上高	2,408,684	2,347,083	△61,601
売上原価	691,992	666,444	△25,547
売上総利益	1,716,692	1,680,638	△36,054
販売費及び一般管理費	1,596,253	1,563,228	△33,024
営業利益	120,438	117,409	△3,029
営業外収益	1,601	2,643	1,042
営業外費用	194	658	464
経常利益	121,845	119,394	△2,451
特別損失	6,860	1,355	△5,504
税引前当期純利益	114,985	118,038	3,052
法人税、住民税及び事業税	62,280	55,894	△6,386
法人税等調整額	△13,507	△6,203	7,304
当期純利益	66,212	68,346	2,134

売上高

折込チラシ配布事業及びその他の事業は、前年同期比を上回りましたが、新聞発行事業の売上の減少(前年同期比3.7%減)が影響し、売上高全体では前年同期比2.6%減となりました。

売上総利益

新聞印刷単価の見直しを行い、印刷外注費は低減いたしましたが、新聞発行事業の売上高が想像以上に下回ったため、売上総利益は前年同期比2.1%減となりました。

営業利益、経常利益、当期純利益

配送機能センター化による業務の効率化と人員の適正化を図ったことにより、販売費及び一般管理費の節減が実現し、営業利益と経常利益は前年実績を下回りましたが、当期純利益は前期比で3.2%増加しました。

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前期 自 2008年9月 1日 至 2009年8月31日	当期 自 2009年9月 1日 至 2010年8月31日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,417	98,304	△59,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,680	101,720	422,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,381	△6,603	△5,221
現金及び現金同等物の増減額	△164,645	193,421	358,067
現金及び現金同等物の期首残高	581,017	416,372	△164,645
現金及び現金同等物の期末残高	416,372	609,794	193,421

営業活動によるキャッシュ・フロー

主に税引前当期純利益が118,038千円であったことに加え、売上債権の減少額(22,999千円)や退職給付引当金の増加額(13,461千円)等の増加要因が、法人税等の支払額(53,429千円)等の減少要因を上回ったものによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に有形固定資産の取得による支出(28,499千円)、無形固定資産の取得による支出(15,703千円)がありましたが、定期預金の払戻による収入(150,000千円)があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

主にファイナンス・リース債務の返済による支出(6,653千円)によるものです。

株主資本等変動計算書(自 2009年9月1日 至 2010年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株 主 資 本 合 計	
		資本準備金	資本剰余金 合 計	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
				繰越利益剰余金			
2009年8月31日残高	203,087	133,087	133,087	290,350	290,350	626,525	626,525
事業年度中の変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	25	25	25	－	－	50	50
当期純利益	－	－	－	68,346	68,346	68,346	68,346
事業年度中の変動額合計	25	25	25	68,346	68,346	68,396	68,396
2010年8月31日残高	203,112	133,112	133,112	358,697	358,697	694,922	694,922

■ 会社概要

(2010年8月31日現在)

会 社 名	株式会社地域新聞社
設 立	1984年8月28日
所 在 地	〒276-0036 千葉県八千代市高津678番地2
電 話 番 号	047-480-3255
資 本 金	203,112,500円
代 表 取 締 役	近間 之文
従 業 員 数	188名
事 業 内 容	新聞発行事業 折込チラシ配布事業 販売促進総合支援事業 その他の事業
事 業 所	本社(千葉県八千代市) 成田支社(千葉県成田市) 船橋支社(千葉県鎌ヶ谷市) 千葉支社(千葉県千葉市) 東葛支社(千葉県柏市) 越谷支社(埼玉県越谷市) 編集センター(千葉県八千代市) 千葉配送センター(千葉県八千代市)

■ 株式の状況

(2010年8月31日現在)

発 行 可 能 株 式 総 数	20,000株
発 行 済 株 式 総 数	9,219株
株 主 数	675名

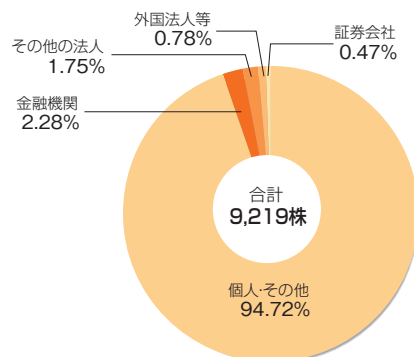
■ 大株主

(2010年8月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
近間 之文	3,799	41.21
近間 久子	248	2.69
大阪証券金融株式会社	206	2.23
関 房子	191	2.07
堀 薫	182	1.97
張本 理恵	177	1.92
城脇 安弘	161	1.75
近間 卓也	160	1.74
地域新聞社従業員持株会	149	1.62
春木 清隆	140	1.52

■ 所有者別株式分布状況

(2010年8月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月開催
基準日	定時株主総会 毎年8月31日 期末配当金 毎年8月31日 中間配当金 毎年2月末日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告により行います。 http://www.chiikinews.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417 http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

地域 新聞

JASDAQ
Listed Company: 2164

〒276-0036
千葉県八千代市高津678番地2
株式会社 **地域新聞社**